

平成24年度「地域“魅力”アップ部門」選考会の様子

■日 時 平成24年6月16日(土)10時00分～15時30分

■会 場 名古屋都市センター・ホール(金山南ビル11階)

地域“魅力”アップ
部門
50万円以内

9:30 受付開始

今年度は、13団体からの申請がありました。

応募団体の皆さんには9時40分に集合していただき事務局からプレゼンテーションの進め方の説明を受け、スタンバイです。発表者や応援のメンバーも含め、緊張しながらも気合が入ってきた様子です。会場には59名の出席者がありました。



受付



プレゼンテーションの説明

平成24年度 まちづくり活動助成「地域“魅力”アップ部門」選考会	
主 催 名古屋都市センター	
ア プ ロ グ ラ ム	
◆ 午 前 の 部	
10:00	開 会
10:05	発 表 (各団体 発表5分、質疑応答3分、入替1分)
1. 新千鳥会	
2. NPO 炎器「美術を愛しよう」	
3. めいづりえるプロジェクト	
4. 清須城400年事業ネットワーク	
5. ちくさ文化の里づくりの会	
6. 名古屋活動写真	
7. NPO法人東山動物園くらぶ	
8. 張子さずなの会	
9. 名古屋城外堀ヒメイダルを受け継ぐ者たち	
10. 長春町アートフェスティバル実行委員会	
11. 中川運河キャナルアート実行委員会	
12. Life Camp (ライフキャンプ)	
13. 特定非営利活動法人 まちの縁側育ぐみ隊	
12:05	選考方法の説明
◆ 午 後 の 部	
13:30	1次審査結果(1次通過団体)の公表
13:35	公 開 質 疑
14:20	休 憩 < 委員による最終投票 >
15:00	2次審査の結果公表
◆ 地域“魅力”アップ部門 採用団体及び助成額の発表	
◆ 委員長 講評	
15:20	閉 会

10:00 開 会

名古屋都市センターまちづくり主幹の司会で、選考会が開会しました。

はじめに、名古屋都市センター事業部長からあいさつがありました。



事業部長あいさつ

本日は、「地域“魅力”アップ部門」の応募のありました13団体につきまして公開審査による選考を行います。また、「はじめの一步」部門の応募のありました11団体につきまして、事前に書類での審査を行いましたので、午前の部の最後に結果を公表します。



まちづくり主幹

まちづくり基金運用委員会の委員(7名)を紹介

選考会に当たって委員は、事前に申請書を熟読のうえ、臨みました。



まちづくり基金運用委員

10:05 応募団体による発表・質疑応答

各団体5分の持ち時間で、申請書の提案内容について、発表していただいた後、まちづくり基金運用委員との質疑応答を行いました。

タイムキーパーは、発表に際しては時間表示をして、公平な発表を心がけました。

あと
1分
です

おしまい
終わってね

1分前表示と終了表示

来場者にも提案内容をできるかぎり公表し、会場で資料を配布しました。

【会場で配布した資料】 当日のプログラム、選考方法説明資料、各団体からの提案内容
※会場では、チラシ等の配布は禁止です。



プレゼンテーションする申請者



プレゼンを受けて、質疑をする基金運用委員

12:05 「“はじめての一步”部門」採用団体の発表

事務局が「選考会の進め方」に沿って説明した後、まちづくり基金運用委員会の福島委員長より、事前に書類選考で助成を決定した「“はじめての一步”部門」採用団体（7団体）の発表を行いました。



採用された団体の皆様、おめでとうございます！この助成金を活用し、頑張って活動し、是非ともよい成果を上げて、また魅力アップ部門の方に応募するよう発展させていただきたいと思います。

平成24年度まちづくり活動助成 「はじめての一步」部門採用団体一覧	
1	高針学区連絡協議会
2	あすなろ会
3	M ² way (エムツーウェイ)
4	天白トラフルゼロ！
5	細根公園愛護会
6	あつた産業再発見マイスターの会
7	特定非営利活動法人団基の会
8	Uzmi ² n.Labo (ウスミン ラボ)
9	any smile (エニー・スマイル)
10	キリハリプロジェクト
11	中川区フランド野菜製品開発研究

はじめての一步部門 採用団体一覧



12:20 休憩、委員による1次投票

書類と当日の発表から1次投票を行いました。



投票結果を
集計する事務局

平成24年度まちづくり活動助成 「地域“魅力”アップ部門」1次投票結果		
No.	団 体 名 称	1次通過 団体
1	新千鳥会	
2	NPO炎舞「美術を楽しもう」	
3	めいとうかえるプロジェクト	○
4	清須越400年事業ネットワーク	○
5	ちくさ・文化の里づくりの会	○
6	名古屋活動写真	○
7	NPO法人東山動物園くらぶ	○
8	鳴きすずなの会	○
9	名古屋城外堀ヒメポタルを受け継ぐ者たち	○
10	長者町アートビジュアル実行委員会	○
11	中川運河キャナルアート実行委員会	○
12	Life Camp (ライフキャンプ)	○
13	特定非営利活動法人まちの縁側育くみ隊	○

13:30 1次投票の結果公表、質疑

休憩終了後、1次投票結果（1次通過団体）を公表！

最終投票に向けて基金運用委員から再質問が出されます。

応募団体の皆さんも熱い思いを語ります。



公開質疑の様子



14:20 休憩、各委員による投票

再質疑を終えると、いよいよ皆さんの前で投票です。

各委員には、各団体の提案を、「選考にあたって重視する点」①～⑤の5項目すべてについて「2点」「1点」「0点」の3段階で評価をしていただきました。

＜選考にあたって重視する点は以下のとおり＞

.....提案内容の妥当性.....

①必要性

- ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か
- ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か
- ・地域との連携や協力が得られる活動か
- ・活動メンバーのみの趣味活動や仲間づくりではなく多くの人に理解や共感が得られる活動か

②独創性

- ・創意工夫にあふれた活動か
- ・地域性を活かした個性豊かな活動か
- ・新しい視点やアイデアはあるか



③実現性

- ・提案内容が具体的になっているか
- ・予算は妥当か

④発展性

- ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか
- ・助成後に地域まちづくり活動への波及効果があるか

.....提案団体の能力.....

⑤活動実績と主体性

- ・提案内容につながる地域での活動実績を有しているか
- ・具体的にどんな熱意を注いでいるか



集計は、「選考にあたって重視する点」5項目の評価を点数化（2点、1点、0点）して委員の平均点を算出しました。

例えば、以下の〇〇〇団体の例では、委員7人の平均点は、8.0点となります。

＜〇〇〇団体の計算例＞

- ①必要性 「2点」4票 「1点」2票 「0点」1票
 - ②独創性 「2点」5票 「1点」1票 「0点」1票
 - ③実現性 「2点」6票 「1点」1票 「0点」0票
 - ④発展性 「2点」4票 「1点」3票 「0点」0票
 - ⑤活動実績と主体性 「2点」5票 「1点」1票 「0点」1票
- （「2点」×24票 + 「1点」×8票 + 「0点」×3票）÷7人＝8.0点

15:00 投票の結果公表、採用団体の発表

西澤副委員長が助成団体を発表！

原則、各委員採点の平均点が8.0点（満10点の8割獲得）

以上の団体を採用すると選考方法で発表していましたが、採点の結果、今年度は8点以上を獲得した団体は3団体のみでした。そこで、予算の範囲内で、助成の必要があると認めた上位7団体を採択しました。



助成団体を発表する西澤副委員長

平成24年度まちづくり活動助成「地域“魅力”アップ部門」 2次投票結果																						
No.	団 体 名 称	委員の平均点 (10点満点)	選考にあたって重視する点を評価													申請額 円	採用団体の 助成額 円					
			計			必要性		独創性		実現性		発展性		活動実績と 主体性								
			2点	1点	0点	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1			2	1	0		
1	新千鳥会	6.43	11	23	1	4	3	0	0	6	1	3	4	0	7	0	4	3	0	500,000		
2	NPO炎舞「美術を楽しもう」	4.43	4	23	8	0	4	3	1	5	1	0	5	2	0	5	2	3	4	0	477,040	
3	めいとうかえるプロジェクト	7.14	16	18	1	4	3	0	0	7	0	6	1	0	1	5	1	5	2	0	360,000	288,000
4	清須越400年事業ネット	7.00	15	19	1	1	6	0	0	7	0	7	0	0	1	5	1	6	1	0	500,000	400,000
5	ちくさ・文化の里づくりの会	6.71	15	17	3	3	4	0	2	5	0	3	2	2	1	5	1	6	1	0	500,000	
6	名古屋活動写真	7.14	17	16	2	6	0	1	2	5	0	3	4	0	1	5	1	5	2	0	500,000	400,000
7	NPO法人東山動物園くらぶ	6.57	14	18	3	4	2	1	3	4	0	3	4	0	1	5	1	3	3	1	500,000	
8	鳴子きずなの会	8.43	25	9	1	7	0	0	1	5	1	6	0	4	3	0	7	0	0	0	500,000	500,000
9	名古屋城外堀ヒメボシの受け継ぐ者たち	8.29	23	12	0	6	1	0	3	4	0	5	2	0	2	5	0	7	0	0	300,000	300,000
10	長者町アートアニュアル実行委員会	8.00	22	12	1	6	1	0	4	3	0	3	4	0	3	3	1	6	1	0	500,000	500,000
11	中川運河キャナルアート実行委員会	6.71	14	19	2	2	5	0	2	4	1	3	4	0	1	5	1	6	1	0	500,000	
12	Life Camp (ライフキャンプ)	3.86	0	27	8	0	6	1	0	7	0	0	4	3	0	4	3	0	6	1	500,000	
13	特定非営利活動法人まちの緑育くみ隊	7.00	14	21	0	4	3	0	0	7	0	3	4	0	0	7	0	7	0	0	300,000	240,000

採択団体には花がつけられました



最後に、委員長から講評がありました。

講評する福島委員長

【委員長講評】

本日は長時間にわたりご参加くださいましてありがとうございました。基金運用委員会を代表しましてお礼申し上げます。私ども委員会は、本当は皆さんの活動を温かく見守って応援をしたいという立場ではございますが、一方で限られた予算のなかで選考をしなくてはなりません。皆様が企画案を真剣に作成し、またプレゼンテーションをしていただいて非常に混戦が予想されました。その中で、確認すべき点が多々あり、きびしい質問をさせていただきました。これも厳正なる選考ということでご了承していただければと考えております。

今回「地域魅力アップ部門」には 13 団体から申請がありました。「環境」分野の提案が 3 団体、「文化・アート・歴史」分野で 8 団体、「コミュニティ」あるいは「福祉」分野で 2 団体でした。いずれも環境、文化、歴史、コミュニティ、福祉を通してまちづくりの発展に寄与していきたいというものばかりだったと思います。

1 次審査を通過した団体が 10 団体あり、その中で最終的には 7 団体を選ばさせていただきました。1 次審査に残った 10 団体につきましては、先ほど、西澤副委員長からご報告ありましたように、上位 3 団体は 8 点を超えて高い得点だったのですが、その他の 7 団体は本当に僅差です。予算枠の関係から、やむなく残り 4 団体を選考いたしました。

選考にあたって重視項目について評価をみますと、多くの団体が「必要性」「活動実績」については評価されていますが、高得点を上げた団体は、「まちづくりへの発展性」や「実現性」の評価項目でもしっかり点数をとっています。提案活動がどうまちづくりに発展していくのかを十分説明でき、しかも実現性が高いものが採択されています。とりわけ、イベントを主たる提案としたところでは、まちづくりへの波及効果や継続的なまちづくり活動にどうつながるかを明確にすることが求められます。また、「地域魅力アップ部門」において採択されたことのある団体では、これまでの活動実績を踏まえ、今回の提案が従来提案・活動をどう発展させたのかということも問われ、より厳しい基準で評価される傾向があったように思います。

今回、採択された団体におかれましては、是非助成の機会を生かして活発にそれぞれの領域でまちづくりを展開していただきたいと思います。また、残念ながら不採択となった団体におかれましては、応援メッセージを個々に書かせていただきますので、再チャレンジをしていただければと思います。

皆様方のそれぞれの活動は、その意欲や取り組みの姿勢と努力・実績において高く評価すべきものです。今後の皆様方の益々のご活躍、ご発展を期待しまして講評とさせていただきます。

15:20 開会

会場でのアンケート結果では、ほとんどの方が、選考会は「公開を続けて欲しい」と回答されました。

選考会についての意見・感想では、

○他の団体の方の発表を聞いたり、交流があったりと公開でおこなうことは良いと思い勉強になりました。

○とても有意義な会だったと思います。みなさんのまちづくりへの思いが伝わり、活動の励みになりました。

○このような選考会に出席したのは、今回が初めてだったのですが、多くの団体の理念や活動を知ることができました。私は非営利団体の運営に興味があるので、今回の選考会は非常に有意義なものでした。

○質疑応答の時間があと2分程あっても良いかと思いました。長引くのはいけないと思いますが。

○イスをたがい違いにならべると見やすいかと思いました。

などの意見が出されました。

来年度以降も、皆さんの意見を参考に、より良い選考会にしていきたいと考えています。



選考結果を確認する団体の皆さん

